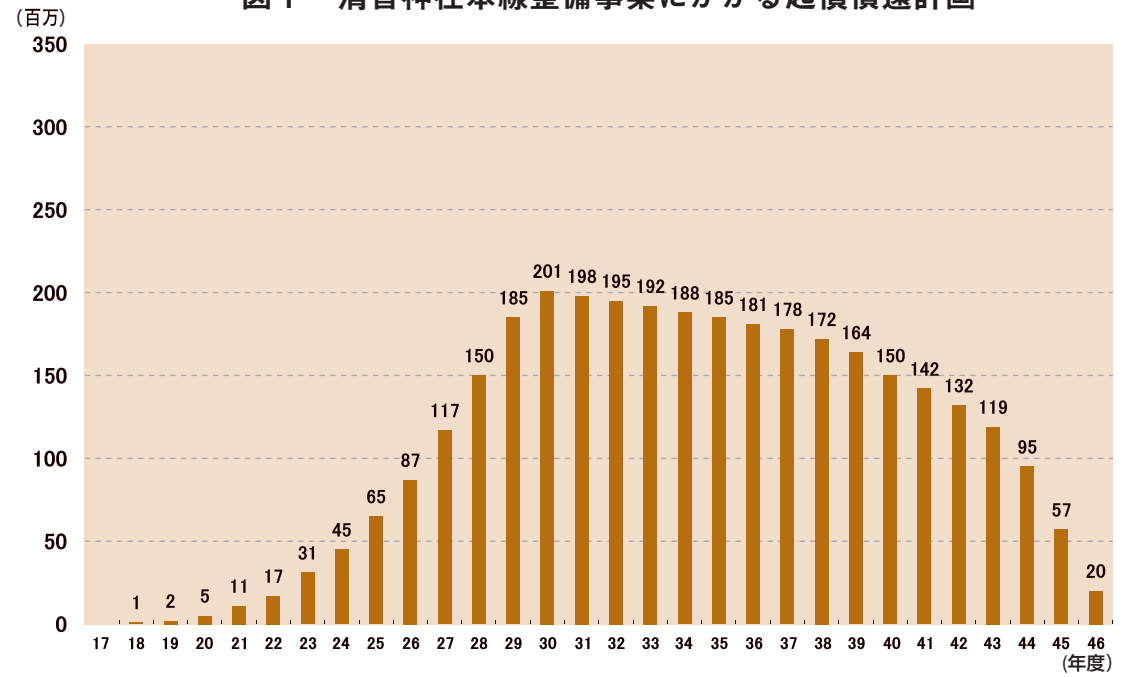


民の負担に比べていくのが普通。新架橋のことも審議会や議会のいろいろな意見を聞いて、最終的に市長が判断すべきである。

■事業費予測

事業費61億円の根拠が心配。シミュレーションをしてみる必要があるのではないかと。

図1 清音神在本線整備事業にかかる起債償還計画



醸して進めてきたものに対し、止めてやめるといふことはあり得ないというのが国県の考え方であった。

■他事業への影響は

財政見通しでは、少子化対策、高齢者や障がい者への社会保障費は余り織り込まれていないように思うが、今の水準を保てるのか。保てるなら、他の予算を削らないと無理と考えるがどうか。

子どもの医療費等は微増、高齢者の予算は伸びると考えられるが、制度の変遷等を考えながら、予算編成で十分加味していきたい。

架橋により、それ以外の予算が削られると心配している。市長は架橋を推進すると言っているのだから、新たな財源を見出すことに努力して、周辺地域の人に迷惑をかけずに、今以上のことをやるよう全身全霊を傾けてほしい。

今後、新たな財源確保と特色あるまちづくりの推進に全身全霊を傾けていきたい。

■地域密着予算確保に努力

これらの意見をもとに、市議会は平成21年度の国への要望手続きを進めることを了承しました。

清音神在本線と新架橋整備事業は、理論上の数字とは異なり、建設から起債の償還までに財源的には約20億円の市の持ち出しが必要で、この事業推進により地域密着予算が削減されることのないよう、議会としても努力をしていきます。

そのためにも今後、詳細な財政計画や建設計画の策定にあたり、他の事業との整合性がとれ、特に市民に身近な事業には影響を及ぼさない範囲内で計画を立案するよう求め、完成後の維持管理についても適切な時期に関係機関に強く働きかけるよう市に對し要望しました。

また、今後の健全な財政運営を図るため、市の実施計画策定や国県への重点要望など、適切な時期に事前に議会へ協議することも要望しました。

いか。
61億円は概算であり、現時点で最も精緻な値である。適切な時期に精査をして、適切な金額にしていきたい。今後、コスト縮減、削減の努力をし、合理化を図って61億円で取り組んでいきたい。

■事業延期は

市を真つ二つに割った議論なので、推進することで終止符を打ちたいという話であったが、納得していない人が半分はあるのでは。
一体感をもって平和的に解決することは非常に難しい。市長が進めていかなければ溝は深まるばかりだ。

市制施行以来、高梁川の東西地域の一本化は1本の橋では進まない。そこで豪渓秦橋ができ、さらに総社大橋の出入り口を広げて渋滞に対処した。今ではほとんど渋滞がない。だから、ユニチカの東を通って総社駅まで続く新道を早急に整備して、その間に国に対して橋りょう部分の話をする。

それまでしばらく休止してほしい。借金の容体(図1

参照)が地域間格差を余計につけることになる。橋は多いほどよいが、財政問題がネック。
総社大橋は、曜日によって込み方や込み時間も違う。ユニチカから総社駅までの短絡道はさらに勉強したいが、合併特例債で既にゴ1サインが出ているこの事業は、路線認定もしており、既に国庫補助事業費8億円を投入している。これを取りやめると、国に対して最大8億円の返還が生じる。ただ単に返すというものは、市民に理解してもらえない。

■事業効果

新橋整備による渋滞緩和効果は44から49%低減されるとあるがそうか。また、空素化合物、二酸化炭素化合物の排出量が減少するとあるが、どのような試算をしているのか。

整備効果は平成27年度での予想。交通量の減少によりCO₂排出の削減が見込まれる。
この橋を含む道路は将来、倉敷、船穂、真備、総社を結ぶ広域的な基幹道路として

て利用しないと効果がないと思う。国県道昇格をぜひお願いしたい。
維持管理を含め、県道昇格を働きかけていきたい。

■維持管理は

市道として着工した場合、倉敷市と総社市とで県道移管の話があったが、その後の程度進んでいるか。
県道移管しなかった場合、維持管理や老朽化により大きなツケを残すことが心配。維持管理を国県に受けてもらうという約束をとってから進めないと、後では絶対受けてもらえない。

橋の今後のあり方で、橋の維持管理は県道昇格を目指して陳情していく。現段階では、議会の了解が得られていないことから倉敷市とは協議していない。了解が得られたら正式に倉敷市と協議を進めたい。

国県で橋を架けてもらうという重点施策で行っていた当時の姿に返すという協議は行ったのか。
国県に廃止も含め、白紙に戻して1年間止めたと言ったら、あれだけ物議を

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

なお、各月の執行状況については、議会事務局及び市のホームページ (<http://www.city.soja.okayama.jp/>) でご覧になれます。

[平成20年8月分～10月分]

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
お 供	8/25	5,000円	瀬戸内市議会議長実母香料
	8/28	5,000円	元総社市議會議員香料
	9/2	10,500円	元総社市議會議員花環
お 祝	—	—	—
お見舞	—	—	—
激励金	—	—	—
会費等	9/22	14,000円	さつき会会費 (正副議長分)
議長賞	—	—	—
土産等	10/14	3,150円	島根県浜田市議会来総
募 金	—	—	—
その他	—	—	—
合 計	—	37,650円	—
4月からの累計	—	188,760円	—